

Express5800/ftサーバの運用、および保守について説明します。

液晶ディスプレイ(LCD)メッセージ(→268ページ)	.液晶ディスプレイ(LCD)で表示されますシステム の状態を示すメッセージを説明します。
日常の保守(→269ページ)	Express5800/ftサーバを日常使う上で確認しな ければならない点やファイルの管理、クリーニン グの方法について説明します。
システム診断(お客様用)(→273ページ)	Express5800/ftサーバ専用の診断ユーティリ ティの使い方について説明します。
装置を増設する前の確認作業(→275ページ)	装置増設前に動作中のシステムの情報を確認する 方法について説明します。
障害時の対処(→276ページ)	故障かな?と思ったときに参照してください。ト ラブルの原因の確認方法やその対処方法について 説明しています。
Fibre Channel接続構成における注意事項(→292ページ)	. Fibre Channelディスクアレイ装置(ST12000)を 接続して運用する際の注意事項について説明しま す。
オフライン保守ユーティリティ(→294ページ)	.本装置ではオフライン保守ユーティリティをサ ポートしていません。
移動と保管(→295ページ)	Express5800/ftサーバを移動・保管する際の手 順や注意事項について説明します。
ユーザーサポート(→296ページ)	Express5800/ftサーバに関するさまざまなサー ビスについて説明します。サービスはNEC、およ びNECが認定した保守サービス会社から提供され れるものです。ぜひご利用ください。

液晶ディスプレイ(LCD)メッセージ

液晶ディスプレイ(LCD)は、PCIコンソールにあり、システムの状態を表示します。 以下に液晶ディスプレイ(LCD)で表示されるメッセージを説明します。

LCDメッセージ	意味
Host Power OFF SMM IP: <i>IP_Address</i>	システムの電源が入っていません。 <i>IP_Address</i> はシステムのIPアドレスを示します。
System POST: <i>nnnn</i> CPU <i>N</i> :10 <i>n</i>	システムBIOSを実行しています。 <i>nnnn</i> はPOSTコード値、 <i>M</i> はCPUモジュールを識別する番号、 <i>n</i> はPCIモジュールを識別する番号です。
BIOS POST Complete CPU <i>I</i> XI/O <i>n</i>	BIOSがブートローダに制御を移した後、液晶ディスプレイ(LCD) はこのメッセージを表示します。 <i>M</i> はCPUモジュールを識別する番号で、 <i>n</i> はPCIモジュールを識別す る番号です。
OS Loading CPU <i>N</i> :I/O <i>n</i>	オペレーティングシステムがロードを開始しました。 MはCPUモジュールを識別する番号で、 <i>M</i> はPCIモジュールを識別す る番号です。
OS UP	オペレーティングシステムが正常にロードされました。
OS Shutdown	オペレーティングシステムがシャットダウンされました。

日常の保守

Express5800/ftサーバを常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に 行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼して ください。

アラートの確認

システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。 管理PC上のESMPRO/ServerManagerにアラートが通報されていないか、常に注意するよ う心がけてください。ESMPRO/ServerManagerの「統合ビューア」、「データビューア」、 「アラートビューア」でアラートが通報されていないかチェックしてください。

ESMPROでチェックする画面



統合ビューア

1 1 1 1		~					
sex s •	18 2						
フィルタリング現金 「マルレフ		▼ 通加	大臣「『	120			
4至 3	カウ 状態	\$17*	74-94 12.	7122	(1)(1)(1)	148-2	y-2 *
コンステム構成変更	2.3	Server Recovery	mpr_TU. TU.	140.0.0.1	2001/05/07 09/28	ESMPRO/SM	EamSaWini
FTサーバ	2.3	FTServer	mp_TU. TU.	140.0.0.1	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
FTサーバ	100	FTServer	mp_TU. TU.	140.0.0.1	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
FTサーバ	113	FTServer	ner.TU. TU.	140.0.0.1	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
FTサーバ	1.3	FTServer	ner.TU. TU.	140.0.0.1	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
FTサーバ	153	FTServer	ner TU, TU,	140.0.0.1	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
FTサーバ	123	FTServer	ner TU, TU,	1400.01	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
FTサーバ	103	FTServer	ner TU, TU,	140.0.0.1	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
FT#-/	2.3	FTServer	ner TU, TU,	140.0.0.1	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
HW evention	2.3	Server Recovery	ner TU., TU.,	140.0.0.1	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
HW evention	ы	Server Recovery	mp_TU. TU.	140.0.01	2001/05/07 09:04	ESMPRO/SM	ESMCommonServic
体 466 件, 未迭 434 件						清岐	教徒 月末

アラートビューア



ステータスランプ・液晶ディスプレイの確認

Express5800/ftサーバの電源をONにした後、およびシャットダウンをしてExpress5800/ ftサーバの電源をOFFにする前に、Express5800/ftサーバにあるランプや、SCSIエンク ロージャに搭載しているハードディスクのランプの表示、および液晶ディスプレイ(LCD)の 表示を確認してください。ランプの機能と表示の内容については「ハードウェア編」の81ペー ジをご覧ください。万一、Express5800/ftサーバの異常を示す表示が確認された場合は、 保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。

バックアップ

定期的にExpress5800/ftサーバのハードディスク内の大切なデータをバックアップすることをお勧めします。Express5800/ftサーバに最適なバックアップ用ストレージデバイスや パックアップツールについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

クリーニング

Express5800/ftサーバを良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。



本体のクリーニング

Express5800/ftサーバの外観の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れが落ちに くいときは、次のような方法できれいになります。



キーボード/マウスのクリーニング



キーボード/マウスはUSBインタフェースであるため、本体装置への取り付け・取り外しは 本体装置の電源をOFFする必要はありません。

キーボードはExpress5800/ftサーバおよび周辺機器を含むシステム全体の電源がONのまま 取り外し、キーボードの表面を乾いた布で拭いてください。 クリーニング完了後は、システム全体の電源がONのままコネクタに接続してください。 マウスが正常に機能するためには、内部のマウスボールがスムーズに回転できる状態でなけ ればなりません。マウスボールの汚れを防ぐためにほこりの少ない場所で使用して、定期的 に次の手順でクリーニングしてください。

- 1. Express5800/ftサーバの電源がONのまま取り外します。
- 2. マウスを裏返してマウスボールカバーを 反時計回りに回して中からマウスボール を取り出す。
- 3. マウスボールを乾いた柔らかい布などで ふいて、汚れを取り除く。

汚れがひどいときはぬるま湯、または水 で薄めた中性洗剤を少量含ませてふいて ください。

4. マウス内部にある3つの小さなローラを 綿棒などでふく。

汚れがひどいときはアルコールなどを少 量含ませてふいてください。

5. マウスボールをマウスの中に戻す。

手順3、4でマウスボールやローラをぬら した場合は、十分に乾燥させてからボー ルを入れてください。

- 6. マウスボールカバーを元に戻して、時計 回りに回してロックする。
- 7. Express5800/ftサーバに接続します。





運用・ ・保守編



フロッピーディスクドライブのクリーニング

フロッピーディスクドライブでフロッピーディスクを使用していると、ヘッドの汚れによる リード/ライトエラーが起きることがあります。

リード/ライトエラーが起きたときは、フロッピーディスクドライブ専用のクリーニングキッ トを使用してリード/ライトヘッドのクリーニングをしてください。クリーニングは、エラー が起きたときだけではなく、定期的に行うことをお勧めします。

使用するクリーニングキットは「LS-120HCL(イメーション社の型番)」です。

購入については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社までお問い合わせくださ ().

CD-ROMのクリーニング

CD-ROMにほこりがついていたり、トレーにほこりがたまっていたりするとデータを正しく 読み取れません。次の手順に従って定期的にトレー、CD-ROMのクリーニングを行います。

- 1. Express5800/ftサーバの電源がONになっていることを確認する。
- CD-ROMドライブ前面のCDトレーイジェクトボタンを押す。
 トレーがCD-ROMドライブから出てきます。
- 3. CD-ROMを軽く持ちながらトレーから取り出す。



4. トレー上のほこりを乾いた柔らかい布でふき取る。



CD-ROMドライブのレンズをクリーニングしないでください。レンズが傷ついて誤動作の原因 となります。

- 5. トレーをCD-ROMドライブに戻す。
- 6. CD-ROMの信号面を乾いた柔らかい布でふく。

₩O III

CD-ROMは、中心から外側に向けてふいてください。クリーナ をお使いになるときは、CD-ROM専用のクリーナであることを お確かめください。レコード用のスプレー、クリーナ、ベンジ ン、シンナーを使用すると、ディスクの内容が読めなくなった り、Express5800/ftサーバにそのディスクをセットした結 果、故障したりするおそれがあります。



テープドライブのクリーニング

テープドライブのヘッドの汚れはファイルのバックアップの失敗やテープカートリッジの損 傷の原因となります。定期的に専用のクリーニングテープを使ってクリーニングしてくださ い。クリーニングの時期やクリーニングの方法、および使用するテープカートリッジの使用 期間や寿命についてはテープドライブに添付の説明書を参照してください。

システム診断(お客様用)

システム診断(お客様用)はExpress5800/ftサーバに対して各種テストを行います。 「EXPRESSBUILDER」の「ツール」メニューから「システム診断」を実行してExpress5800/ftサーバを診断 してください。

システム診断(お客様用)の内容

システム診断(お客様用)には、次の項目があります。

- Express5800/ftサーバに取り付けられているメモリのチェック
- CPUキャッシュメモリのチェック
- システムとして使用されているハードディスクのチェック
- 本体に標準装備しているネットワーク(LAN)コントローラのチェック



システム診断(お客様用)を行う時は、必ず本体に接続しているLANケーブルを外してくだ さい。接続したままシステム診断を行うと、ネットワークに影響をおよぼすおそれがありま す。



ハードディスクのチェックでは、ディスクへの書き込みは行いません。

システム診断(お客様用)の起動と終了

システム診断(お客様用)の起動方法は次のとおりです。



EXPRESSBUILDERの操作はキーボードのカーソルキーで行います。 マウスでの操作はできません。

- 1. シャットダウン処理を行った後、Express5800/ftサーバの電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。
- 2. 本体に接続しているLANケーブルをすべて取り外す。
- 3. 電源コードをコンセントに接続し、Express5800/ftサーバの電源をONにする。
- CD-ROM「EXPRESSBUILDER」をExpress5800/ftサーバのCD-ROMドライブにセットして Express5800/ftサーバをCD-ROMから起動する。
 EXPRESSBUILDERから起動すると画面にメニューが表示されます。

- 5. [ツール]を選択する。
- 6. 「ツールメニュー」から[システム診断]ー [システム診断(お客様用)]の順に選択す る。

システム診断(お客様用)を開始します。 約3分で診断は終了します。



診断を終了するとディスプレイ装置の画 面の表示が変わります。



- システムバー: 試験中に時間などの情報が表示されます。診断終了後には、ウィンドウ を操作するキーの説明が表示されます。
- タイトルバー: 診断の項目が表示されます。エラーを検出したときは、このバーが赤色 表示になります。

試験ウィンドウ: 診断の経過または結果が表示されます。

ターゲットスコープ: 試験ウィンドウを選択するためのカーソルです。キーボードのカーソル キーで他の試験ウィンドウに移動します(ここで<Enter>キーを押す と、選択したウィンドウに対する確認ができます。もう一度、<Enter> キーを押すと元の画面に戻ります)。

診断でエラーがあった場合はタイトルバーが赤色に変化し、エラーに関する情報が赤色で表示され警告を促します。エラーメッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

- 7. <Q>キーを押して、メニューの中から[Reboot]を選択する。
 Express5800/ftサーバが再起動し、システムがEXPRESSBUILDERから起動します。
- 8. EXPRESSBUILDERを終了し、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。
- 9. Express5800/ftサーバの電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。
- 10. 手順2で取り外したLANケーブルを接続し直す。
- 11. 電源コードをコンセントに接続する。

以上でシステム診断(お客様用)は終了です。

装置を増設する前の確認作業

Express5800/ftサーバに装置を増設する場合、装置によっては動作中のft制御ソフトウェアのバージョン を限定するものがあります。そこで、増設対象の装置がft制御ソフトウェアのバージョンの確認を必要と する場合、装置の増設前に以下の手順を実施してください。

- 1. 増設対象の装置に添付されている説明書、もしくは、PP・サポートサービスのWEBページのtt制 御ソフトウェアUpdate情報を参照して必要なft制御ソフトウェアのバージョンを確認する。
- 2. 動作中のシステムのft制御ソフトウェアのバージョンを確認する。
- 3. 装置を使用することが可能なパージョンであることが確認できた後、装置の増設を行う。

なお、動作中のシステムのft制御ソフトウェアのバージョンを確認する方法については、「1. 導入編」の「ft制御ソフトウェアのバージョン確認方法」を参照してください。

障害時の対処

「故障かな?」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当することがらがある 場合は、説明に従って正しく対処してください。

障害箇所の切り分け

万一、障害が発生した場合は、ESMPRO/ServerManagerを使って障害の発生箇所を確認 し、障害がハードウェアによるものかソフトウェアによるものかを判断します。 障害発生個所や内容の確認ができたら、故障した部品の交換やシステム復旧などの処置を行 います。

障害がハードウェア要因によるものかソフトウェア要因によるものかを判断するには、 ESMPRO/ServerManagerが便利です。



エラーメッセージ

Express5800/ftサーバになんらかの異常が起きるとさまざまな形でエラーを通知します。 ここでは、エラーメッセージの種類について説明します。

ランプによるエラーメッセージ

Express5800/ftサーバの前面や背面、ハードディスクのハンドル部分にあるランプはさま ざまな状態を点灯、点滅、消灯によるパターンや色による表示でユーザーに通知します。「故 障かな?」と思ったらランプの表示を確認してください。ランプ表示とその意味については 「ハードウェア編」の81ページをご覧ください。

Windows 2000のエラーメッセージ

Windows 2000の起動後に致命的 なエラー(STOPエラーやシステム エラー)が起きるとディスプレイ装 置の画面がブルーに変わり、エ ラーに関する詳細なメッセージが 表示されます。

> 画面のパックグラウンド の色は「ブルー」

STOP : C000021A (FATAL SYSTEM ERROR)
The Windows logon process. System process terminated.
Unexpectedly with a status of 0x00000001 (0x00000000 0x00000000).
The system has been shutdown.
crashdump : initializing miniport driver
crashdump : dumping physical memory to disk

画面に表示されたメッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。 また、このエラーが起きるとExpress5800/ftサーバは自動的にメモリダンプを実行し任意 のディレクトリにメモリダンプのデータを保存します(「メモリダンプ(デバッグ情報)の設定 (40ページ)」参照)。のちほど保守サービス会社の保守員からこのデータを提供していただく よう依頼される場合があります。DATなどのメディアにファイルをコピーして保守員に渡せ るよう準備しておいてください。



STOPエラーやシステムエラーが発生しシステムを再起動したとき、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのまま起動してください。



このファイルをメディアにコピーする前に、イベントビューアを起動して、システムイベントログでSave Dumpのイベントログが記録され、メモリダンプが保存されたことを確認してください。

使用中に「システムの仮想メモリが不足しています。システムのメモリを増やすかアプリケーションを終了して下さい。」と表示される場合があります。 このメッセージが表示された場合は、以下のことを行ってください。

1. 物理メモリを追加する。

2. ページファイルの設定を変更する(物理メモリ容量X1.5以上に変更する)。

このほかにもディスクやネットワーク、プリンタなど内蔵デバイスや周辺機器にエラーが起きた場合にも警告メッセージが表示されます。メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ

ESMPRO/ServerAgentやESMPRO/ServerManager、GAMSeverなどExpress5800/ft サーバ専用の管理ツールをExpress5800/ftサーバや管理PCヘインストールしておくと、何 らかの障害が起きたときに管理PCやExpress5800/ftサーバに接続しているディスプレイ装 置から障害の内容を知ることができます。

各種アプリケーションのインストールや運 用方法についてはソフトウェア編、または オンラインドキュメントを参照してくださ い。

ESMPROを使ったシステム構築や各種設 定の詳細についてはオンラインヘルプや別 売の[ESMPROシステム構築ガイド]で詳 しく説明されています。

1 77-ht'a-7								- 🗆 ×
7x(1)(E) 編集(E) 表示(Y) 5	/-IKD ∧	17.A						
	重要度	(すべ	σ	¥	北ボネット (すべ	-D	•	
標要	+x-1)	状態	3()*	マネージャ	コンボーネント	71-72	発生時刻	
ロシステムCPU高負荷回復		E 6	CPU		{不明なサーハ}	10.8.46.106	1997/01/29 17:13	
■ システムCPU具常高負荷	دن	79	CPU		[不明なサーハ]	10.8.46.106	1997/01/29 17:11	
■ システムCPU高負荷回復		39	CPU	oomm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 18:31	
■ システムCPU高負荷回復		5	CPU	comm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 18:13	
■ システムCPU異常高負荷		E	CPU	comml	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 18:12	
■ システムCPU異常高負荷回渡	فت	39	CPU	comml	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 18:10	
■ システムCPU異常高負荷		29	CPU	comm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 17:54	
■ システムCPU高負荷回復	1	29	CPU	comm1	ROLEX	198.22.3.100	1997/01/27 17:25	
■ システムCPU高負荷回復	4	39	CPU		【不明なサーバ】	10.8.46.106	1997/01/27 14:08	
■ システムCPU高負荷	ون ا	39	CPU		{不明なサーバ}	10.8.46.106	1997/01/27 14:05	
■ システムCPU高貨商回復	4	39	CPU	comml	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 19:29	
■ システムCPU高貨商回復		39	CPU		(小明なサーハ)	10.8.46.106	1997/01/16 19:29	
E システムCPU高負荷		2	CPU	comm1	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 19:28	
■ システムCPU尚真何回復	14	39	CPU	oomm1	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 19:27	
システムCPU高頁何	9	-19	CPU		(小明なサーバ)	10.8.46.106	1997/01/16 19:27	
■ システムCPU高貫间回爆		-19	CPU	comm	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 15:34	
■ システムCPU商具何			CPU	comm	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 15:33	
■ システムCPU商用何回接		-*3	CPU	comm1	sheep	10.8.46.248	1997/01/16 15:26	
会は10 H 主体2 H							18.42 State	
王1016日、米1833日							1940	

トラブルシューティング

Express5800/ftサーバが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従ってExpress5800/ftサーバをチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録 してから、保守サービス会社に連絡してください。

Express5800/ftサーバについて

電源がONにならない

- □ 電源がExpress5800/ftサーバに正しく供給されていますか?
 - → 電源コードがExpress5800/ftサーバの電源規格に合ったコンセント(または UPS)に接続されていることを確認してください。
 - → Express5800/ftサーバに添付の電源コードを使用してください。また、電源 コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確 認してください。
 - → 接続したコンセントのブレーカがONになっていることを確認してください。
 - → UPSに接続している場合は、UPSの電源がONになっていること、およびUPS から電力が出力されていることを確認してください。詳しくはUPSに添付のマ ニュアルを参照してください。
 - → 電源ユニットがONになっていることを確認してください。
- □ 電源ボタンを押しましたか?
 - → Express5800/ftサーバ前面にある電源ボタンを押して電源をONにしてください。
- □ 電源ユニットは正しく取り付けられていますか?
 - → Express5800/ftサーバの背面の電源ユニットが正しく取り付けられていること を確認してください。電源ユニットにあるランプの表示状態で電源ユニットの 状態を確認することができます。
- □ CPU/PCIモジュールは正しく取り付けられていますか?
 - → Express5800/ftサーバにCPU/PCIモジュールが正しく取り付けられているこ とを確認してください。CPU/PCIモジュールは確実に固定してください。

電源がOFFにならない

- □ Windows2000をシャットダウンしましたか?
 - → Windows2000をシャットダウンして、電源ボタンを5秒以上押し続けてください。

POST<u>が終わらない</u>

- □ メモリが正しく搭載されていますか?
 - → 最低4枚(Bank 0)のDIMMが搭載されていないと動作しません。
- □ 大容量のメモリを搭載していますか?
 - → 搭載しているメモリサイズによってはメモリチェックで時間がかかる場合があ ります。しばらくお待ちください。
- □ Express5800/ftサーバの起動直後にキーボードやマウスを操作していませんか?
 - → 記動直後にキーボードやマウスを操作すると、POSTは誤ってキーボードコン トローラの異常を検出し、処理を停止してしまうことがあります。そのときは もう一度、起動し直してください。また、再起動直後は、BIOSの起動メッセー ジなどが表示されるまでキーボードやマウスを使って操作しないよう注意して ください。
- □ Express5800/ftサーバで使用できるメモリ・PCIカードを搭載していますか? → NECが指定する機器以外は動作の保証はできません。

内蔵デバイスや外付けデバイスにアクセスできない(または正しく動作しない)

- □ ケーブルは正しく接続されていますか?
 - → インタフェースケーブルや電源ケーブル(コード)が確実に接続されていること を確認してください。また接続順序が正しいかどうか確認してください。
- □ 電源ONの順番を間違っていませんか?
 - → 外付けデバイスを接続している場合は、外付けデバイス、Express5800/ftサー バの順に電源をONにします。
- □ ドライバをインストールしていますか?
 - → 接続したオプションのデバイスによっては専用のデバイスドライバが必要なも のがあります。デバイスに添付のマニュアルを参照してドライバをインストー ルしてください。

🕜 キーボードやマウスが正しく機能しない

- □ ケーブルは正しく接続されていますか?
 - → Express5800/ftサーバ前面にあるコネクタに正しく接続されていることを確認 してください。
- □ BIOSの設定を間違えていませんか?
 - → Express5800/ftサーバのBIOSセットアップユーティリティでキーボードの機 能を変更することができます。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認 してください。
 - <確認するメニュー: 「Main | → 「Keyboard Features |>
- \Box ドライバをインストールしていますか?
 - → 使用しているOSに添付のマニュアルを参照してキーボードやマウスのドライバ がインストールされていることを確認してください(これらはOSのインストー ルの際に標準でインストールされます)。また、OSによってはキーボードやマ ウスの設定を変更できる場合があります。使用しているOSに添付のマニュアル を参照して正しく設定されているかどうか確認してください。



Windows 2000 のインストール後にデバイス マネージャで日本語106/109 キー ボードが英語101/102 キーボードと認識される。

- → デバイスマネージャでは英語101/102キーボードと認識されていますが、キー ボードの入力は日本語106/109キーボードの配列で行うことができます。日本 語106/109キーボードに変更したいときは、以下の手順で変更してください。
 - 1. [スタートメニュー]から[設定]を選択し、[コントロールパネル]を起動する。
 - [管理ツール]内の[コンピュータの管理]を起動し[デバイスマネージャ]をクリックする。
 - 3. [キーボード]をクリックし、以下のプロパティを開く。 101/102英語キーボードまたは、Microsoft Natural PS/2キーボード
 - 4. [ドライバ]タブの[ドライバの更新]をクリックし、[このデバイスの既知の ドライバを表示してその一覧から選択する]を選択する。
 - 5. 「このデバイス クラスのハードウェアをすべて表示」を選択し、日本語 PS/ 2キーボード(106/109キー)を選択して[次へ]をクリックする。
 - 6. ウィザードに従ってドライバを更新してコンピュータを再起動する。
 - 7. 以下のメッセージが表示された場合は、[はい]をクリックして操作を続行 する。



⑦ フロッピーディスクにアクセス(読み込み、または書き込みが)できない

- □ フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットしていますか?
 - → フロッピーディスクドライブに「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでくだ さい。
- □ 書き込み禁止にしていませんか?
 - → フロッピーディスクのライトプロテクトスイッチのノッチを「書き込み可」に セットしてください。
- □ フォーマットしていますか?
 - → フォーマット済みのフロッピーディスクを使用するか、セットしたディスクを フォーマットしてください。フォーマットの方法については、OSに添付のマ ニュアルを参照してください。

CD-ROMにアクセスできない

- □ CD-ROMドライブのトレーに確実にセットしていますか?
 - → トレーにはCD-ROMを保持するホルダーがあります。ホルダーで確実に保持されていることを確認してください。
- □ Express5800/ftサーバで使用できるCD-ROMですか?
 - → Macintosh専用のCD-ROMは使用できません。

? ハードディスクにアクセスできない

- □ Express5800/ftサーバで使用できるハードディスクですか? → NECが指定する機器以外は動作の保証はできません。
- □ ハードディスクは正しく取り付けられていますか?
 - → ハードディスクのハンドルにあるレバーで確実にロックしてください。不完全 な状態では、内部のコネクタに接続されません(105ページ参照)。また、正し く接続されている場合、Express5800/ftサーバの電源がONの間、ハードディ スクにあるランプが点灯します。

SCSI機器(内蔵・外付け)にアクセスできない

- □ Express5800/ftサーバで使用できるSCSI機器ですか?
 - → NECが指定する機器以外は動作の保証はできません。
- □ SCSIコントローラ(オプション含む)の設定を間違えていませんか?
 - → オプションのSCSIコントローラボードを搭載し、SCSI機器を接続している場 合は、SCSIコントローラボードが持つBIOSセットアップユーティリティで正 しく設定してください。詳しくはSCSIコントローラボードに添付のマニュアル を参照してください。
- □ SCSI機器の設定を間違えていませんか?
 - → 外付けSCSI機器を接続している場合は、SCSIIDや終端抵抗などの設定が必要 です。詳しくはSCSI機器に添付のマニュアルを参照してください。
 - → Express5800/ftサーバ背面にあるSCSIコネクタに外付けSCSI機器を接続して いない場合は、添付の終端抵抗コネクタを取り付けてください。Express5800/ ftサーバ内部で接続されているSCSI機器のSCSI接続は背面の終端抵抗コネクタ で終端されます。

② OSを起動できない

- □ フロッピーディスクをセットしていませんか?
 - → フロッピーディスクを取り出して再起動してください。
- □ EXPRESSBUILDERをセットしていませんか?
 - → EXPRESSBUILDERを取り出して再起動してください。

Windows 2000を正しくインストールできない

□ インストール時の注意事項を確認していますか? → 29ページを参照してください。

障害発生時、「自動的に再起動する」の設定で設定どおりに動作しない

→ 障害発生時に「自動的に再起動する」の設定にかかわらず、自動的に再起動する 場合や再起動しない場合があります。再起動しない場合は、手動で再起動して ください。

<u>ネットワーク上で認識されない</u>

- □ ケーブルを接続していますか?
 - → Express5800/ftサーバにあるネットワークポートに確実に接続してください。 また、使用するケーブルがネットワークインタフェースの規格に準拠したもの であることを確認してください。
- □ プロトコルやサービスのセットアップを済ませていますか?
 - → Express5800/ftサーバ専用のネットワークドライバをインストールしてくださ い。また、TCP/IPなどのプロトコルのセットアップや各種サービスが確実に設 定されていることを確認してください。
- □ 転送速度の設定を間違えていませんか?
 - → Express5800/ftサーバに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、 転送速度が100Mbpsと10Mbpsのどちらのネットワークでも使用することが できます。この転送速度の切り替えまたは設定はOS上から行えますが、「Auto Detect」という機能は使用せず、「100」または「10」のどちらかに設定してくだ さい。また、接続しているHubと転送速度やデュプレックスモードが同じであ ることを確認してください。

[新しいハードウェアが見つかりました]とメッセージが表示される

→ システム起動時、またはPCIモジュール交換後、システムに組み込まれる際に、 新しいハードウェアを追加していないのに[新しいハードウェアが見つかりました]~SCSI Other Deviceメッセージが表示されることがありますが、本装置に おける動作の仕様によるものであり、本装置の動作には問題はありません。

システムイベントログにsrabbのログが記録される

- → マシン起動時およびPCIモジュールを組み込んだ際、以下のメッセージがシステムイベントログに記録されることがありますが、処理のタイミングにより発生するものであり、動作上は問題ありません。
 - 「ソース : srabb
 - ID : 17
 - 説 明 : I2c Command 0x4 to Bridge 0x2a/0xff succeeded after 2 tries. The first try failed with Status 0xc00000b5.」

② システムイベントログにDCOM関連とPolicyAgentのログが記録される

- → インストール後の最初の再起動時のみ以下のログがシステムイベントログに記録されることがありますが、動作上問題ありません(説明中のx:英数字)。
 - 「ソース : DCOM
 - ID : 10005
 - 説 明 : "サーバー: {xxxxxxx-xxxx-xxxx xxxx xxxx xxxxx } を実行する ためにサービス xxxxx(引数 "") を起動しようとしたときに、DCOM でエラー ""サービス データベースはロックされています。" が発 生しました。"」
 - 「ソース: PolicyAgent
 - ID : 321
 - 説 明 : IPSEC PolicyAgent サービス: IPSEC ドライバを開始できません でした」

「ソース: PolicyAgent

- ID : 319
- 説 明 : IPSEC PolicyAgent サービスは開始されませんでした: Oakley を 開始できませんでした。」

システムイベントログに「NMSサービスは不正に終了しました」というログが記録される

→ システム立ち上げ時、またはPCIモジュール交換後、システムに組み込まれる際に、以下のログがシステムイベントログに記録されることがありますが、動作上問題ありません。

NMS サービスが停止するとPROSet I での設定更新が無効となりますが、実際 は、PROSet I を起動するとNMSサービスが自動起動されるため設定更新は正 常に行われます。そのままお使いになってください。

「ソース: Service Control Manager

- ID : 7031
- 説 明 : NMSサービスは不正に終了しました。これは1回発生しています。 次の修正動作が0ミリ秒以内に行われます :何もしない」

システムイベントログに iANSMiniport関連のログが記録される

- → システム立ち上げ時に以下のログがシステムイベントログに記録されることが ありますが、動作上問題ありません(説明中のX:数字)。
 - 「ソース: iANSMiniport
 - ID : 35
 - 説 明 : Initializing Team #X with X missing adapters. Check the configuration to verify that all the adapters are present and functioning. J

② システムイベントログに、ESMCpuPerf関連のログが記録される

- → システムの一時的なリソース不足や高負荷率などが原因で、OSからパフォーマンス情報が取得できないことを検出した場合にESMPRO/ServerAgentでは以下のイベントログを登録致しますが、システムの運用に特に問題はありません(説明中のYとx:英数字・YYYYは取得できない場合もあります)。
 - 「ソース: ESMCpuPerf
 - ID : 9005
 - 説 明 : システムのパフォーマンス情報が取得できない状態です(YYYY Code=xxxx)」

なお、情報が取得できない場合には、負荷率は0%として扱うため、連続して情報が取得できない事象が発生した場合、CPU負荷率は実際値よりも低く表示される場合があります。



- → システム立ち上げ時、またはPCIモジュールの組み込み時にイベントログに SCSIコントローラが連続して複数個登録されていることがありあます。以下の ようにイベントのプロパティを確認してデータに「f0030004」が含まれている 場合、システムの動作に問題はありませんので、そのままご使用ください。
 - 「ソース: sraql 160
 - ID : 11
 - 説 明 : ドライバはDevice¥Scsi¥sragl 160xでコントローラエラーを検出 しました。

1				
日付: 時刻: 種類: ユーザー(<u>U</u>): コンピュータ(<u>C</u>):	2002/10/23 18:38 Iラー N/A HALEAAA	ソース: 分類: イベント ID:	sraq1160 なし 11	↑ ↓ ₽
見日月(D):				
見8月(<u>D</u>): ドライバは ¥De	vice¥Scsi¥sraq	11601 でコントに	コーラ エラーを検出し	ました。
児明(<u>D</u>): ドライバは ¥De データ(<u>D</u>): (^	vice¥Scsi¥sraq 1,14 ト(<u>B</u>)	11601 でコントロ ・ <u>ワード(W)</u>	コーラ エラーを検出し	ました。
現明(①): ドライ/ \(は ¥De データ(①): 〇 0000: 001000 0010: 001200 0020: 000000 0030: 000000	vice¥Scsi¥srad /////(E) 0f 006a0001 0f 0000000 00000000 00 00000000 07 (0030004)	(1601 でコント(で ワード(の) 0000000 c00 000000 c00 000000 c00	コーラ エラーを検出し: 4000b 00000 0000f	ました。

アプリケーションイベントログにWMI関連のログが記録される

- → システム立ち上げ時に以下のログがアプリケーションイベントログに記録され ることがありますが、動作上問題ありません。
 - 「ソース : WinMgmt
 - ID : 42
 - 説明: 009サブキーでプロパティインデックス2902の値が見つからな かったため、WMI ADAPはパフォーマンスライブラリW3SVCのオ ブジェクト Win32_PerfRawData_W3SVC_WebServiceを作成し ませんでした」

アプリケーションイベントログにsra_ssn関連のログが記録される

- → システム立ち上げ時に以下のログがアプリケーションイベントログに記録され ることがありますが、動作上問題ありません。
 - 「ソース : sra_ssn
 - ID : 10336
 - 説明: Retry starting for SMM 0.0.0.0 host log connection.」



アプリケーションイベントログにvmperf関連のログが記録される

→ システム立ち上げ時に以下のログがアプリケーションイベントログに記録され ることがありますが、動作上問題ありません。

「ソース: vmperf

- ID : 11
- 説明: (ソース vmperf内)に関する説明が見つかりませんでした。リモー トコンピュータからメッセージを表示するために必要なレジストリ 情報またはメッセージ DLLファイルがローカルコンピュータにな い可能性があります。次の情報はイベントの一部です:..
- 「ソース : vmperf
- ID : 12
- 説 明 : (ソース vmperf内)に関する説明が見つかりませんでした。リモー トコンピュータからメッセージを表示するために必要なレジストリ 情報またはメッセージ DLLファイルがローカル コンピュータにな い可能性があります。次の情報はイベントの一部です:.」

EXPRESSBUILDERについて

EXPRESSBUILDERからExpress5800/ftサーバを起動できない場合は、次の点について確 認してください。

□ POSTの実行中にEXPRESSBUILDERをセットし、再起動しましたか?

- → POSTを実行中にEXPRESSBUILDERをセットし、再起動しないとエラーメッセージ が表示されたり、OSが起動したりします。
- □ BIOSのセットアップを間違えていませんか?
 - → Express5800/ftサーバのBIOSセットアップユーティリティでブートデバイスの起動 順序を設定することができます。BIOSセットアップユーティリティでCD-ROMドラ イブが最初に起動するよう順序を変更してください。 <確認するメニュー:「Boot |>

EXPRESSBUILDER実行中、何らかの障害が発生すると、以下のようなメッセージが表示さ れます。エラーコードを記録して保守サービス会社に連絡してください。

メッセージ	原因と処理方法
本プログラムの動作対象マシンではあり ません。	EXPRESSBUILDER の対象マシンではありません。対象マシンで実行してください。
NvRAMへのアクセスに失敗しました。	不揮発性メモリ(NvRAM)にアクセスできません。
ハードディスクへの アクセスに失敗しま した。	ハードディスクが接続されていないか、ハードディス ク が異常です。ハードディスクが正常に接続されてい ることを確認して ください。

この他にもシステム診断を実行したときに障害を検出するとエラーメッセージが表示されま す。表示されたメッセージをメモまたはプリントアウトし、保守サービス会社までご連絡く ださい。

ftサーバセットアップについて

セットアップの開始時に次のメッセージが表示された

指定された disk が見つかりません。SW インストールを終了しています。

→ システムをインストールするディスクが正しく接続されていないことが考えられま す。ハードウェアの取り付け状態や接続状態を確認してください。

CD-ROMからファイルをコピー中に次のメッセージが表示された。

→ <R>キーを押してください。<R>キーを押しても何度も表示されるときは、セット アップをはじめからやり直してください。それでも同じ結果が出たときは保守サー ビス会社に連絡して、CD-ROMドライブの点検を依頼してください。

? 間違った

(2)

間違ったプロダクトID/CDキーを入力してしまった。

- → 間違ったプロダクトID/CDキーを入力すると再入力を要求されます。正しいキーを 入力してください。
- <u>ネットワークアダプタの詳細設定ができない。</u>
- → Express5800/ftサーバのセットアップでは、ネットワークアダプタの詳細設定は 行えません。Windows 2000起動後、コントロールパネルから設定してください。

マスターコントロールメニューについて

オンラインドキュメントが読めない

□ HTMLブラウザが正しくインストールされていますか?

- → オンラインドキュメントは、HTML文書です。あらかじめHTMLブラウザ (Internet Explorer 5.x以降)をご使用のオペレーティングシステムヘインストー ルしておいてください。
- □ HTMLファイルの関連付けは正しいですか?
 - → オンラインドキュメントはCD-ROM上のローカルファイルをアクセスします。 Internet ExplorerとNetscape Communicatorが共存しているとHTML文書の 拡張子(.htm、.html)がブラウザに正しく関連付けられていないことがありま す。次の手順で(Internet Explorer 5.0の場合)関連付けを設定してください。
 - 1. Internet Explorerを起動する。
 - 2. Internet Explorerのメニューから、[ツール]-[インターネットオプション] を選択する。
 - 3. [プログラム]タブをクリックし、[Webの設定のリセット]をクリックする。
 - 4. 確認のダイアログボックスが現れるので[はい]をクリックする。

- □ Adobe Acrobat Readerが正しくインストールされていますか?
 - → オンラインドキュメントの文書の一部は、PDFファイル形式で提供されています。あらかじめAdobe Acrobat Reader (Version 4.05以上)をご使用のオペレーティングシステムヘインストールしておいてください。なお、Adobe Acrobat Readerは、EXPRESSBUILDERからインストールすることができます。マスターコントロールメニューを起動後、[ソフトウェアのセットアップ]の[Adobe Acrobat Reader]を選択してください(インストール後、Acrobat Readerを起動して使用許諾契約書に同意してからご使用ください)。

オンラインドキュメントの画像が見にくい

- □ ご使用のディスプレイは、256色以上の表示になっていますか?
 - → ディスプレイの設定が256色未満の場合は、画像が見にくくなります。256色 以上の表示ができる環境で実行してください。

マスターコントロールメニューが表示されない

- □ ご使用のシステムは、Windows NT 4.0以降、またはWindows 95以降ですか?
 - → CD-ROMのAutorun機能は、Windows 2000、およびWindows NT 4.0、 Windows 95以降でサポートされた機能です。それ以前のバージョンでは自動 的に起動しません。ご注意ください。
- □ <Shift>キーを押していませんか?
 - → <Shift>キーを押しながらCD-ROMをセットすると、Autorun機能がキャンセ ルされます。
- □ システムの状態は問題ありませんか?
 - → システムのレジストリ設定やCD-ROMをセットするタイミングによってはメ ニューが起動しない場合があります。そのような場合は、CD-ROMの ¥MC¥1ST.EXEをエクスプローラ等から実行してください。

ESMPROについて

ESMPRO/ServerAgentについて

→「ソフトウェア編」の「ESMPRO/ServerAgent」の説明を参照してください。

ESMPRO/ServerManagerについて

→「ソフトウェア編」の194ページ以降の説明を参照してください。また、添付のCD-ROM 「EXPRESSBUILDER」内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ ServerManagerインストレーションガイド」でトラブルの回避方法やその他の補足 説明が記載されています。参照してください。

障害情報の採取

万一障害が起きた場合、次の方法でさまざまな障害発生時の情報を採取することができま す。



イベントログの採取

Express5800/ftサーバに起きたさまざまな事象(イベント)のログを採取します。

し、もう一度起動すると、障害情報が正しく採取できません。

■● STOPエラーやシステムエラー、ストールが起きている場合はいったん再起動してから作 ■ 業を始めます。

- コントロールパネルから[管理ツール] [イベントビューア]をクリックする。
- 2. 採取するログの種類を選択する。

[アプリケーション ログ]には起動してい たアプリケーションに関連するイベント が記録されています。[セキュリティ ロ グ]にはセキュリティに関連するイベント が記録されています。[システム ログ]に はWindows 2000のシステム構成要素で 発生したイベントが記録されています。

- 3. [操作]メニューの[ログファイルの名前を 付けて保存]コマンドをクリックする。
- 4. [ファイル名]ボックスに保存するアーカ イブログファイルの名前を入力する。
- 5. [ファイルの種類]リストボックスで保存 するログファイルの形式を選択し、[OK] をクリックする。



構成情報の採取

Express5800/ftサーバのハードウェア構成や内部設定情報などを採取します。 情報の採取には「診断プログラム」を使用します。



- スタートメニューの[設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックする。
 [コントロールパネル]ダイアログボックスが表示されます。
- [管理ツール]アイコンをダブルクリックし、[コンピュータの管理]アイコンをダブルクリックする。

[コンピュータの管理]ダイアログボックスが表示されます。

- 3. [システムツール]-[システム情報]をクリックする。
- 4. [操作]メニューの[システム情報ファイル として保存]コマンドをクリックする。
- 5. [ファイル名]ボックスに保存するファイ ルの名前を入力する。
- 6. [保存]をクリックする。



ワトソン博士の診断情報の採取

ワトソン博士を使って、アプリケーションエラーに関連する診断情報を採取します。 診断情報の保存先は任意で設定できます。

詳しくはスタートメニューの[ファイル名を指定して実行]で「drwtsn32.exe」で起動する [Windows 2000 ワトソン博士]ダイアログボックスにある[ヘルプ]を参照してください。

メモリダンプの採取

障害が起きたときのメモリの内容をダンプし、採取します。ダンプをDATに保存した場合 は、ラベルに「NTBackup」で保存したか「ARCServe」で保存したかを記載しておいてくださ い。診断情報の保存先は任意で設定できます。詳しくは「メモリダンプ(デバッグ情報)の設 定(40ページ)」を参照してください。

■ 保守サービス会社の保守員と相談した上で採取してください。正常に動作しているとき
 □ に操作するとシステムの運用に支障をきたすおそれがあります。

障害の発生後に再起動したときに仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示される場合がありますが、そのまま起動してください。途中でリセットして起動し直すと、データを正しくダンプできない場合があります。

障害が発生し、メモリダンプを採取したいときはExpress5800/ftサーバにインストールさ れているESMPRO/ServerAgentのftサーバユーティリティ、またはESMPRO/ ServerManagerのデータビューアから行ってください。

詳細は、「ソフトウェア編」の「ESMPRO/ServerAgent,ServerManager」ー「Express5800/ ftサーバの保守作業」ー「ダンプ採取」を参照してください。

Fibre Channel接続構成における注意事項

Fibre Channelディスクアレイ装置(ST12000)を接続して運用する際の注意事項について説明します。

● Fibre Channelディスクアレイ装置(ST12000)と接続した場合

ディスクアレイ上の論理ドライブの名称が、デバイスマネージャにて以下の2通り表示される場合がありますが、動作上の違いはなく、問題はありません。

ST12000

"Stratus Dual Initiated Mylex DACARMRB[~] SCSI Disk Device" ([~]は任意の英数字が入る場合があります)

"Mylex RAID Disk Device"

- Primary FC障害時のDISKアクセスについて

システム起動時にPrimary側のPCIモジュールのFCボード、ケーブルに異常があった 場合、Secondary PCIモジュールが起動するまでFC接続のDISKにアクセスできま せん。Secondary PCIモジュールの起動には時間がかかります。そのため、FC接続 のDISKにインストールされたアプリケーションやサービスの起動に失敗することが あります。この場合、Secondary PCIモジュールが起動された後に、アプリケー ションやサービスの再起動をしてください。

- 追加したディスクが見つからない現象について

追加したディスクがVERITAS Volume ManagerのGUI画面で見つからない場合は、 「再スキャン」を実行してください。「再スキャン」を実行後、ディスクの状態が「オ ンライン」以外の場合には、VERITAS Volume Managerのマニュアルの「トラブル シューティング」、「ディスクとボリュームの状態情報の活用」を参照し、それぞれの 状態に対する対処をしてください。

- 再スキャン時のアラートメッセージ出力について

ディスク構成を変更し、再スキャンを実行すると、「pnpプロバイダが、物理ディス ク¥Device¥Harddiskxが削除されているか、一時的に使用不可であることを検出し ました。」のアラートメッセージが出力されることがあります。VERITAS Volume Managerは、運用中のディスク構成を常に保持しています。 再スキャン実行時に、 保存されているディスク構成と異なると、上記メッセージが出力されることがあり ます。再度「再スキャン」を実施してください。「再スキャン」を実行後、ディスクの 状態が「オンライン」以外の場合には、VERITAS Volume Managerのマニュアルの 「トラブルシューティング」、「ディスクとボリュームの状態情報の活用」を参照し、 それぞれの状態に対する対処をしてください。

 Fibre Channelディスクアレイ装置(ST12000)上の論理ドライブをすべて削除した 場合、必ずSAN Array Manager Clientで[Administration]→[Scan Devices]を実 行してください。[Scan Devices]の実行後、「Error returned by the server. Error code:0xd001.」がポップアップ表示される場合は、再度、[Scan Devices]を実行し てください。また、ST12000上に論理ドライブを作成していない状態では、デバイ スマネージャからハードウェア変更のスキャンを実行しないでください。 - 読み取り不可のディスク状態表示について

ST12000に論理ドライブを一つも作成していない場合、VERITAS Volume ManagerのGUI画面で読み取り不可のディスクが見える場合がありますが、動作に問題はありません。また、その状態で論理ドライブを追加すると「デバイス取り外しの警告」 およびVERITAS Volume Managerでの「pnpプロバイダが、物理ディスク ¥Device¥Harddiskxが削除されているか、一時的に使用不可であることを検出しま した。」のアラートメッセージが出力されることがありますが、動作に問題はありま せん。

- ESMPRO/ServerManager、ServerAgentのアップデートについて

本装置に添付のESMPRO/ServerManager、ServerAgentは、Fibre Channelディ スクアレイ装置(ST12000)の監視は行いません。そのため、Fibre Channelディス クアレイ装置(ST12000)の添付CD-ROMに含まれるESMPRO/ServerManager、 ServerAgentのアップデートは必要ありません。

- Array Recovery Toolのアップデートについて

本装置に添付のEXPRESSBUILDERには、Array Recovery Toolを添付していません。そのためFibre Channelディスクアレイ装置(ST12000)の添付CD-ROMに含まれるArray Recovery Toolのアップデートは必要ありません。

オフライン保守ユーティリティ

本装置ではオフライン保守ユーティリティをサポートしていません。



Express5800/ftサーバを移動・保管するときは次の手順に従ってください。

送 注意
 装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を
 守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。
 詳しくは、前ページ以降の説明をご覧ください。
 ー人で持ち上げない
 指定以外の場所に設置しない
 プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない



- ハードディスクに保存されている大切なデータはバックアップをとっておいてください。
- ハードディスクを内蔵している場合はハードディスクに衝撃を与えないように注意して Express5800/ftサーバを移動させてください。
- 1. フロッピーディスク、CD-ROMをセットしている場合はExpress5800/ftサーバから取り出す。
- 2. Express5800/ftサーバの電源をOFFにする。
- 3. Express5800/ftサーバの電源コードをコンセントから抜く。
- 4. Express5800/ftサーバに接続しているケーブルをすべて取り外す。
- 5. ラックからExpress5800/ftサーバの各ユニットを取り出す。
- 6. CPUモジュールは2人以上で、PCIコンソールとSCSIエンクロージャは3人以上で底面を持って運ぶ。

₩O III

CPUモジュールとPCIコンソールにフロントベゼルを取り付けて持ち上げる場合は、フロント ベゼルを持たないでください。フロントベゼルが外れて落下し装置を破損してしまいます。

7. Express5800/ftサーバに傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。

ユーザーサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください。

保証について

Express5800/ftサーバには『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を 記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中 に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保 証書』およびこの後の「保守サービスについて」をご覧ください。

保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に 連絡してください。

- NEC製以外(サードパーティ)の製品、またはNECが認定していない装置やインタ フェースケーブルを使用したために起きたExpress5800/ftサーバの故障について は、その責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 本体の背面に、製品の形式、 SERIAL No.(製造番号)、定 格、製造業者名、製造国が明記 された銘板が貼ってあります。 販売店にお問い合わせする際に この内容をお伝えください。ま た銘板の製造番号と保証書の保 証番号が一致していませんと、 装置が保証期間内に故障した場 合でも、保証を受けられないこ とがありますのでご確認ください。 万一違う場合は、販売店に ご連絡ください。



修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、以下の手順を行ってください。

- 電源コードおよび他の装置と接続しているケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- ②「障害時の対処(276ページ)」を参照してください。該当する症状があれば記載されてい る処理を行ってください。
- ③ Express5800/ftサーバを操作するために必要となるソフトウェアが正しくインストール されていることを確認します。
- ④ 市販のウィルス検出プログラムなどでサーバをチェックしてみてください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最 寄りのNECまたは保守サービス会社にご連絡ください。その際にサーバのランプの表示や ディスプレイ装置のアラーム表示もご確認ください。故障時のランプやディスプレイによる アラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。保守サービス会社の連絡先に ついては、付録BF保守サービス会社網一覧」をご覧ください。 なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください。



このExpress5800/ftサーバは日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することは できません。ご了承ください。

修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

- □ 保証書
- □ ランプの表示状態と液晶ディスプレイ(LCD)に表示されたメッセージのメモ
- □ ディスプレイ装置に表示されたメッセージのメモ
- □ 障害情報*
- □ 本体・周辺機器の記録
 - * 289ページに記載している情報などが含まれます。障害情報は保守サービス会社 から指示があったときのみ用意してください。

補修用部品について

本装置の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

保守サービスについて

保守サービスはNECの保守サービス会社、およびNECが認定した保守サービス会社によって のみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、 ご都合に合わせてご利用いただけます。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で 承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客様に合わせて2種類用意してお ります。 保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様の障害コールにより優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。 この保守方式は、装置に応じた一定料金で保守サービスを実施させていた だくもので、お客様との間に維持保守契約を結ばせていただきます。 さまざまな保守サービスを用意しています。詳しくはこの後の説明をご覧 ください。
未契約修理	お客様の障害コールにより、技術者を派遣し、修理にあたります。保守ま たは修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なりま す。

NECでは、お客様に合わせて以下の契約保守サービスを用意しております。

₩ ● サービスを受ける為には事前の契約が必要です。

■三字 ● サービス料金は契約する日数/時間帯により異なります。

ハードウェアメンテナンスサービス

維持保守

定期的な点検により障害を予防します。(定期予防保守) また、万一障害発生時には保守技術者がすみやかに修復します。(緊急障害復旧)

出張修理

障害発生時、保守技術者が出張して修理します。(緊急障害復旧)

エクスプレス通報サービス

ご契約の期間中、お客様のExpress5800/ftサーバ本体を監視し、障害(アレイディスク縮 退、メモリ縮退、温度異常等)が発生した際に保守拠点からお客様に連絡します(お客様への 連絡時間帯:月曜日〜金曜日 午前9:00〜午後5:00)。

「ハードウェアメンテナンスサービス」または「マルチベンダH/W統括サービス」を契約された お客様は無償でこの保守サービスをご利用することができます。

(お申し込みには「申込書」が別途必要です。販売店、当社営業担当にお申し付けください。)

ESS(Express Server Startup)サービス

Express5800シリーズのWindows 2000/Windows NT対応モデルにおいて、ESS対象の サーバソフトウェアやクライアントソフトウェアに対し、以下の機能やサービスを提供しま す。

- インストールプログラムとソフトウェアライセンスの管理
- ソフトウェアの予防保守(RUR)*
- ソフトウェアのアップグレード制度への参加*
- Windows 2000/Windows NTサービスパックの配布*
 - * Delivery Serviceパッケージのみの機能として提供されます。

PP(プログラム・プロダクト)・サポートサービス

NECが納入する一部他社製品のライセンス・ソフトウェアに対し、下記の作業を行います。 (製品によっては保守サービスを提供できないものがあります。)

- PPに関する電話・FAXによる問い合わせ対応
- PPの更新情報・技術情報などの提供
- PPの更新版の提供

オプションサービス

下記のオプションサービスもございますのでご利用ください。 なお、オプションサービスは提供するNEC販売店により、名称、内容が異なる場合がござい ますので、お確かめの上、ご用命ください。以下のサービスはNECフィールディング(株)が 提供するものです。

ヘルプデスクサービス

クライアント・サーバ・システムを対象に、ハードウェア/ソフトウェアの適合性、操作方法、製品機能、障害に対する回避策などのお客様からのご質問に電話、ファクシミリ、電子メールなどで回答します。(クライアント100台単位の購入になります。フリーダイヤルを利用でき、問い合わせ回数は無制限です。)

マルチベンダH/W統括サービス

マルチベンダ製品(Express5800/ftサーバ+SI仕入製品*)で構成されるクライアント・サーバ・システムに対し、下記の形態による修理を行います。

維持保守形態	定期予防保守と、障害発生機器の切り分け、緊急障害復旧を行います。
出張保守形態	障害発生機器の切り分け、緊急障害復旧を行います。
引取り保守形態	障害発生機器の切り分け、取外し、引取り、持帰り、調査、修理をし、完了後に取付け、動 作確認、修理内容報告、引渡しを行います。
預り保守形態	お客様が送付された故障品を修理し、完了後にご返送します。

* SI仕入製品とは・・・

NECが他社から仕入れ、責任をもってお客様に納入させていただく他社製品のことです。

LANマルチベンダ保守サービス

他社製品を含むマルチベンダで構成されるLAN機器(ルータ・HUB・ブリッジなど)について、障害原因の切り分けとお客様が選んだ保守方式による障害修復を行います。クライアントおよびサーバは、本メニュー対象外です。

NEC製のLAN機器は出張修理を行います。

他社製品のLAN機器についても、シングルウインドウでその障害修復(センドバック、予備 機保守など、お客様が選んだ保守方式による)までをフォローします。

NTサーバ監視サービス(Express5800監視サービス)

Windows 2000/Windows NTサーバ全体の稼働状態を監視します。サービス内容は、サー パ立ち上げ状況から業務アプリケーション稼働状況、サーバのアラーム状況の監視まであり ます。サービス日時は、24時間・365日まで9パターンから選択できます。監視の結果は、 毎月報告書を発行します。修理は、ハードウェアメンテナンスサービスで対応します。 Windows 2000にも対応しております。

LAN・ネットワーク監視サービス

お客様が準備したLAN・ネットワーク監視装置を使用し、INS回線経由で監視します。サービス内容は、ネットワークノードの障害監視から、性能監視、構成監視まであります。サービス日時は、24時間・365日まで9パターンから選択できます。監視の結果は、毎月報告書を発行します。修理は、ハードウェアメンテナンスサービスで対応します。

情報サービスについて

Express5800/ftサーバに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800(代表)

受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)

お客様の装置本体を監視し、障害が発生した際に保守拠点からお客様に連絡する「エクスプレス通報サービス」の申し込みに関するご質問・ご相談は「エクスプレス受付センター」でお 受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

エクスプレス受付センター

TEL. 0120-22-3042

受付時間/9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日を除く)

インターネットでも情報を提供しています。

http://nec8.com/

『NEC 8番街』:製品情報、Q&Aなど最新Express情報満載!

http://club.express.nec.co.jp/

『Club Express』:『Club Express会員』への登録をご案内しています。Express5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスの詳細をご紹介しています。

http://www.fielding.co.jp/

NECフィールディング(株)ホームページ:メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介しています。

~Memo~